トピックス

### 行動力と発信力をもち、 楽器の魅力を伝える奏者に

奏活動を展開する卒業生の濱田あやさん。今春は、国際的なチェンバロ の祭典「Harpsichord Heaven」に出演し、日本人で初めて"世界の 9人のチェンバロ奏者"に選出された。「優れた演奏は言うまでもなく、 それだけでは通用しないのが世界の舞台」という濱田さんに、神戸女学 院大学での学びや経験がどのように役立っているのか、話を聞いた。

■濱田あや(はまだ・あや) 神戸女学院中学部。 高等学部、同大学音楽学科を卒業後、ジュリアード音 楽院古楽演奏科修士課程を最優秀の成績で修了。ブ ロミュージカ室内管弦楽団首席チェンバロ奏者、レザー ル・フロリサン伴奏要員、古楽アンサンブル「クイーン ズ・コンソート」のメンバー。日本、北中南米、欧州各 地でリサイタルを開催。ロンドン音楽祭コンクール第 1位、ジョセフ・ホフマン・ピアノコンクール第2位など 受賞歴多数。ニューヨーク・マンハッタン在住。

帰国後すぐに副専攻でチェンバロを履

ツァルトが過ごした部屋に立ち、彼が 受けました。目の前に新しい世界が広 紀にタイムスリップしたような衝撃を いていたチェンバロに触れた。「18世 濱田さんの専攻はピアノだったが、

口の選択肢がなかったら、スタートを 修することを決意。「副専攻にチェン

術など、多様な領域を学修し、

音楽だけに偏らず、外国語や文学、

今、こうして自分の活動に責任を持っ いたら、いつまでたっても進めません。

て取り組めるのは、神戸女学院大学で、

行った。「今は様々なことが求められる

誰かがやってくれるのを待って

とプロへの道が開かれていったように 設が決まり、 ジュリアード音楽院に古楽演奏科の新 み続け、トップの成績で卒業。その後、 る中、特待生として抜擢された。「自ず 濱田さんはピアノにも真剣に取り組 世界中から応募が殺到す

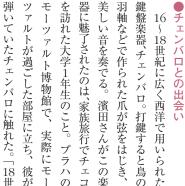


2015年にリリースされたデビュー

スタッフの人選やパリでの録音会場の

スケジューリングまで自身で

「デュフリ:クラヴサン曲集」も、



# 続けることが奏者としての貢献

かった記憶はないという。

れました」。以来、チェンバロは自身を 院のシステムが私の可能性を広げてく

表現してくれる相棒に。レッスンで辛

切ることすら出来なかった。

神戸女学

味があったと感じます」。

た内容も、振り返ってみると全てに意 に直接関係がないのでは? と思ってい 広げていただいたおかげ。当時、

手の育成もサポートしていきたいです」。 ることでその機会を増やすと共に、 いていただける。私が演奏活動を続け れるチェンバロ。濱田さんは奏者とし 「今はYouTube等があり、何処ででも聴 も多くの人に伝えたいと考えている。 トリーなど、楽器のもつ魅力を一人で 国によっては馴染みの薄い楽器とさ その音色の奥深さや多彩なレパー

## 大切なのは、 進んで行動する力

行っている。訪れる国に合わせて英語 欧州…と、世界を舞台に演奏活動 して手がけ、Web等で発信する。 カ国語を使い分け、演奏会のプログラ フランス語、イタリア語、 の企画や資料作成、広報も自ら率先 現在、濱田さんは日本、北中南米 日本語の

### ●チェンバロ奏者 濱田 あや さん

밎